

謹賀新年

旧年中は当社業務にご尽力を頂き、御礼申し上げます。

2020年1月30日、世界保健機関(WHO)が「新型コロナウイルス感染症のアウトブレイクが公衆衛生上の緊急事態である」と宣言してから早2年が経ちました。事態はワクチン接種で収拾するものと思われていましたが、変異種の発生でいまだ以前の生活や仕事を取り戻せていません。約100年前に発生したスペイン風邪も収束まで3年かかったと言われており、我々は今しばらく不自由な生活が続くことを覚悟しなければならないのかも知れません。

このような状況の中、当社も従来の業務を見直し、清掃資機材や運営管理のデジタル化を推し進めなければなりません。どのほど最新の機器を導入しても人の目配り、気配り、そして丁寧な作業に勝るものはありません。

引き続き、当社の理念「**誠心誠意**」をもって、顧客への対応はもとより、毎日作業を共にする仲間にも思いやりとご挨拶を忘れず精勤頂きますよう御願ひ申し上げます。

また皆様が株式会社日本保健衛生協会のかけがえのない一員として誇りを持って頂けるような企業を目指して参る所存です。どうぞ本年も社業発展にお力添え頂きますようよろしく御願ひ申し上げます。

末尾になりましたが、皆様の新年のご多幸を心より祈念申し上げます。

2022年1月吉日

株式会社日本保健衛生協会

代表取締役 **宮里 唯子**



コロナ禍で見えてきた私たちの仕事

新型コロナウイルスがもたらしたもの

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、健康被害はもちろんのこと、私たちがこれまで経験したことのない大きな影響を与えました。外出自粛要請によって日常生活は制限され、経済的な損失や雇用の喪失を生じました。またコロナ禍の不安やストレスの中、うわさの拡散、差別や偏見など社会的な問題も発生しました。

しかし新型コロナウイルスが社会にもたらした影響は悪いことばかりではなく、私たちの価値観や社会のあり方を見直す大きな契機ももたらしたのではないかと考えます。

そのひとつは「当たり前」の日常は、当たり前ではない」ことに気づいたことです。電車やバスでどこにでも出かけられる、いつでも好きなときに物を買うことができる、病気や怪我をしたときに治療してもらえる、ごみが溜まって困ることはないなど、こうした「当たり前」の生活は、当り前の生活を維持するために働いている方がいたからこそ成り立っていました。この私たちの日常生活で必要不可欠な仕事に従事している方々をエッセンシャルワーカーと呼びます。そして清掃業務に携わる私たちがエッセンシャルワーカーの一人なのです。

●エッセンシャルワーカー(essential worker)とは

人々の社会生活を支える必要不可欠な仕事に従事している方のこと。

(Essential=必要不可欠な、Worker=労働者)

●エッセンシャルワーカーの一例

・医療従事者、介護士、保育士

・小売店の店員

・市役所職員、区役所職員

・運転手、配達員

・ごみ収集員

・清掃作業員

私たちは、清掃作業で安全、安心かつ衛生的な環境をつくるエッセンシャルワーカーです。

私たちの仕事のこれから

私たちは感染対策の最前線にいます

皆さんの現場(工場、物流倉庫、クリニック、介護施設、病院など)では、毎日多くの従業員のほうが就業し、また不特定多数の人が訪れることと思います。私たちはこのような現場で、手のよく触れる場所(ドアノブや手すりなど)をレモングリーンDDやハイプロックスアクセルといった消毒剤を含有した洗浄剤で清掃しています。これは汚れを取り除くとともに、手指を介した病原体の伝播を防ぐことを目的としており、重要な感染対策の一つです。

私たちは、私たち自身が感染するかもしれないリスクを負いながら、清掃作業を通して現場での感染リスクを低減させ、従業員の方や利用者の方に安全で衛生的な環境を提供しています。つまり私たちの仕事は感染対策の最前線にあり、感染予防の最初の防波堤を作っているのです。

もし新型コロナウイルスが終息したとしても、今後も感染対策としての清掃作業が引き続き求められることと思います。

したがって、これからの現場=お客様は、単なるお掃除をするだけの会社は求めません。お掃除をするだけの作業員は求めません。

正しい清掃手順と感染知識を身につけ、自分自身を感染から守りつつ「私たちの清掃で感染拡大を防ぐのだ」という高い意識を持った清掃会社や作業員が求められると考えます。

新型コロナウイルスで世の中が大きく変化している中、2022年がスタートしました。この変化をチャンスと捉え、私たち皆が高い意識を持って仕事に従事し、お客様に選ばれる、また必要とされる清掃を目指しましょう！

清掃作業＝感染対策

清掃は何のために行うか

前項で、私たちの清掃作業は単なるお掃除ではなく感染対策としての清掃作業が求められると話しました。ではそもそも清掃作業とはいったい何なのか、まず確認しておきましょう。

私たちは毎日、現場で清掃作業を行っています。マイクロファイバークロスで鏡を拭いたり、ブラシでトイレを清掃したり、モップで床を拭いたりしています。

これは何のためにやっているのでしょうか。

私たちの清掃現場である工場や物流倉庫、介護施設やクリニック、病院などには、毎日不特定多数の人が出入りしています。そうすると当然、施設内にはほこりが堆積したり、汚れが付着したり、ごみが発生したりします。これをそのまま放置すると施設内は不潔になり、施設を利用する人にとって適切な状態ではなくなります。

いつも気持ちよく施設を利用したり、仕事に専念したりできるようにするには、ほこりや汚れを取り除いて清潔な状態を維持することが必要です。

清掃作業とは、そのために行う仕事なのです。



清掃は、施設的美観を維持し、長持ちさせる役割を担います。



目には見えませんが、思った以上に手指は汚れています。

感染対策としての清掃作業とは

では感染対策としての清掃作業とはどういうことでしょうか。簡単に言うと、私たちの周りの環境に由来する細菌やウイルスを人に近づけないようにすることです。

細菌やウイルスは目には見えませんが、私たちの周りに無数に存在しています。土の中や水の中、ほこりに付着していたり、物の表面に付着していたりします。人が咳やくしゃみをした飛沫に含まれている場合もあります。

こうした細菌やウイルスは自分で移動してあちこちに広がることはありません。私たち人間の手指が、細菌やウイルスの運び屋となっていていろいろな場所に拡散していきます。

汚れた手でドアノブやスイッチを触ったりすると、細菌やウイルスはすぐに広がります。

これを防ぐために、手指がよく触れる場所を清掃して清潔にすることが感染対策としての清掃作業となります。加えて手洗いと手指消毒を行うことが感染対策の基本となります。

オミクロン株について分かっていること

オミクロン株

新型コロナウイルスのうち、遺伝情報の一部が変化して異なる性質のものになった変異ウイルスの一種。

スパイクたんぱく質に30カ所以上の変異があり感染力が強い。ワクチンを2回接種していても発症を防ぐのが難しいとされている。

■ 感染力

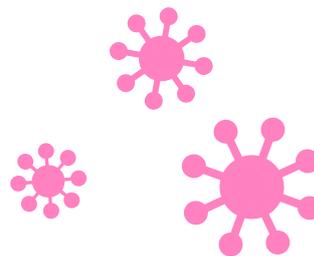
オミクロン株の感染力は、デルタ株に比べて3倍から4倍高いとする見方がある。

オミクロン株の感染者は、ワクチン接種済みの人や、これまでに感染した人も感染している。

■ 症状

オミクロン株の病原性は、デルタ株よりも重症化するリスクは低いとされている。

軽症にもかかわらず、倦怠感や息苦しさといった後遺症の懸念がある。



■ 感染経路

飛沫やマイクロ飛沫による感染、接触感染が報告されている。

■ 感染対策

これまでと同様の感染対策。

マスクの着用、手洗いと手指消毒、換気、3密を避けるなど。

業務連絡 ①

引き続き感染対策の徹底をお願いします

前述のとおり、新型コロナウイルスのオミクロン株による感染が広がっています。

オミクロン株は感染しても重症化する割合が低いといわれていますが、まだ証明されたわけではありません。重症化するリスクが低いといっても医療機関への負担が減るわけではありません。また軽症でも疲労感や息苦しさなどといった後遺症も懸念されています。

引き続き感染対策の徹底をお願いします。

- マスクの着用
- 手洗いと手指消毒
- 室内の換気
- 3密の回避

業務連絡 ②

必ず申請した通勤手段で通勤願います

ある現場で、お客様に自転車から自家用車での通勤変更を申請しましたが許可が下りなかったため、無断で自家用車で通勤し、かつ現場近隣のスーパーマーケットに駐車して出勤していたことが判明しました。

問題点は以下のことが挙げられます。

- 無断で登録した通勤手段と異なる手段で通勤したこと。
- 近隣スーパーマーケットの駐車場に駐車して出勤したこと。

通勤費用、手段の公平性や安全性などの観点から就業規則違反として処分の対象となる場合もあります。

くれぐれも申請と異なる手段で通勤しないようお願いします。